

冷戦終焉 20 年 鉄のカーテン解体から、ベルリンの壁崩壊へ



**鉄のカーテンはなぜ取り外されたか？
ベルリンの壁崩壊はなぜ起こったのか？
中・東欧の人々はいかに解放されたか？
以後 20 年の軌跡は？**

日時 2009年11月22日 午後1時～5時半（12時半開場）
場所 青山学院大学 青山キャンパス 総合研究所ビル12階大会議室
出席者 ランズベルギス、ヴィータウタス（元リトアニア国家元首、欧州議会議員）、
ランズフェルト、ヴェラ（作家、元ドイツ国会議員）、
スタニスキス、ヤドヴィガ（1989年当時のポーランド連帯指導者、ワルシャワ大学教授）、
ロイドル、トーマス（在京オーストリア大使館次席、全権公使）
山本吉宣（青山学院大学教授）

共同司会 大野博人（朝日新聞前ヨーロッパ総局長）、羽場久美子（青山学院大学教授）

主催 青山学院大学 総合研究所

共催 駐日欧州委員会代表部、オーストリア大使館、ドイツ大使館、ハンガリー大使館、リトアニア大使館、
ポーランド大使館、東京大学（DESK）、朝日新聞社

後援 日本外務省、日本ハンガリー友好協会

参加希望される方は、info@ri.aoyama.ac.jp宛に「冷戦終焉 20 周年国際会議」と件名を書いて、
氏名、所属、メールアドレスを明記の上、メールでお申し込み下さい。
参加無料。同時通訳があります。

青山学院大学総合研究所

「拡大ヨーロッパと東アジアの地域再編—地域統合・安全保障・社会政策の比較研究」プロジェクト

日本学術振興会 科学研究費

「国際政治に見る欧州と東アジアの地域統合の比較研究」プロジェクト（代表 羽場久美子）



冷戦終焉 20 年

鉄のカーテン解体から、ベルリンの壁崩壊へ

鉄のカーテンはなぜ取り外されたか？
ベルリンの壁崩壊はなぜ起こったか？
中・東欧の人々はいかに解放されたか？
以後二十年の軌跡は？



日 時 2009 年 11 月 22 日 午後 1 時～5 時半 (12 時半開場)
場 所 青山学院大学 青山キャンパス 総合研究所ビル 12 階 大会議室
出席者 ランズベルギス、ヴィータウタス
(元リトアニア国家元首 (元最高会議議長)、欧州議会議員)
ランズフェルト、ヴェラ (作家、元ドイツ国会議員)
スタニスキス、ヤドヴィガ
(1989 年当時のポーランド連帯運動指導者、ワルシャワ大学教授)
オプラトカ、アンドラーシュ
(アンドラーシュ・ジュラ大学、ウィーン大学教授、ハンガリー)
ロイドル、トーマス (在京オーストリア大使館次席、全権公使)
山本吉宣 (青山学院大学教授)
共同司会 大野博人 (朝日新聞前ヨーロッパ総局長)・羽場久美子 (青山学院大学教授)

主催 青山学院大学 総合研究所
共催 駐日欧州委員会代表部、オーストリア大使館、ドイツ大使館、ハンガリー大使館、リトアニア大使館、
ポーランド大使館、東京大学ドイツ・ヨーロッパ研究センター、朝日新聞社
後援 外務省、日本ハンガリー友好協会

青山学院大学総合研究所

「拡大ヨーロッパと東アジアの地域再編—地域統合・安全保障・社会政策の比較研究」プロジェクト
日本学術振興会 科学研究費
「国際政治に見る欧州と東アジアの地域統合の比較研究」プロジェクト (代表 羽場久美子)



冷戦終焉 20 年国際会議 プログラム

鉄のカーテン崩壊から、ベルリンの壁崩壊へ

日 時 2009 年 11 月 22 日 午後 1 時から 5 時半 (12 時半開場)
場 所 青山学院大学 青山キャンパス 総合研究所ビル 12 階 大会議室
主 催 青山学院大学 総合研究所
共 催 駐日欧州委員会代表部、オーストリア大使館、ドイツ大使館、ハンガリー大使館、リトアニア大使館、ポーランド大使館、東京大学 (DESK)、朝日新聞社
後 援 外務省 (日本・ドナウ交流年 2009、日本オーストリア交流年 2009、日本・ハンガリー交流年 2009、日本・ポーランド国交樹立 90 周年)、日本ハンガリー友好協会

・講演者

1. ランズベルギス、ヴィータウタス (元リトアニア国家元首 (元最高会議議長)、欧州議会議員)
2. ランズフェルト、ヴェラ (作家、元ドイツ国会議員)
3. スタニスキス、ヤドヴィガ (1989 年当時のポーランド連帯指導者、ワルシャワ大学教授)
4. オプラトカ、アンドラーシュ (アンドラーシュ・ジュラ大学、ウィーン大学教授、ハンガリー)
5. ロイドル、トーマス (在京オーストリア大使館次席、全権公使)

プログラム

主催者・共催者 挨拶 13:00-13:30

- ・青山学院大学学長 伊藤定良 挨拶
- ・駐日欧州委員会より一等書記官 リュディ・フィロン氏 ご挨拶
- ・日本外務省より欧州局参事官 福島教輝氏 ご挨拶
- ・在京オーストリア大使館次席、全権公使 トーマス・ロイドル氏 ご挨拶

Part I. 政策決定者の講演 13:30-15:00

「鉄のカーテンはいかに断ち切られたか。ベルリンの壁はいかに崩壊したか
民主化はいかに達成されたか」

1. リトアニア 200 キロの人間の鎖を導き、独立を達成
ランズベルギス、ヴィータウタス (元リトアニア国家元首 (元最高会議議長)、欧州議会議員)
「1988-1989 年における EU と統合：リトアニアの貢献」
2. ドイツ： ベルリンの壁の崩壊からドイツ統一へ
ランズフェルト、ヴェラ (作家、元ドイツ国会議員)
「壁崩壊から 20 年：知られざる革命」
3. ポーランド： 中・東欧解放の旗手
スタニスキス、ヤドヴィガ (1989 年当時のポーランド連帯指導者、ワルシャワ大学教授)
「自由化と中東欧の社会主義システム崩壊におけるポーランドの役割」
4. ハンガリー： ハンガリーの決断——鉄のカーテンの解放
オプラトカ、アンドラーシュ (アンドラーシュ・ジュラ大学、ウィーン大学教授、ハンガリー)
「鉄のカーテン解体、1989 年 9 月：ハンガリー国境開放」

コーヒーブレイク 15:00-15:30

Part II. シンポジウム 15:30-17:15

政策決定者と日本代表のパネルディスカッション

共同司会 大野博人（朝日新聞前ヨーロッパ総局長）・羽場久美子（青山学院大学教授）

- ・ ランズベルギス、ヴィータウタス（元リトアニア国家元首（元最高会議議長）、欧州議会議員）
- ・ ランズフェルト、ヴェラ（作家、元ドイツ国会議員）
- ・ スタニスキス、ヤドヴィガ（1989年当時のポーランド連帯指導者、ワルシャワ大学教授）
- ・ オプラトカ、アンドラーシュ（アンドラーシュ・ジュラ大学、ウィーン大学教授、ハンガリー）
- ・ ロイドル、トーマス（在京オーストリア大使館次席、全権公使）
- ・ 山本吉宣（青山学院大学教授、前東京大学教授）「冷戦終焉 20年と国際政治」

総括挨拶 17:15-17:30

レセプション 18:00-19:30 （関係者のみ）

鉄のカーテンはなぜ取り外されたか？
ベルリンの壁崩壊はなぜ起こったか？
中・東欧は、どのように解放されたか？
以後 20 年の軌跡は？

1989年の冷戦終焉に向けてのドラマは、ブッシュとゴルバチョフのマルタ島での会談を大きく超え、旧社会主義国に生活する人々自体の解放の流れが、鉄のカーテンを崩し、ベルリンの壁を崩壊させた、画期的な出来事として展開した。

その出来事は、ハンガリーとオーストリアの間にある小さな国境の美しい街、ショプロンで、始まった。ここには、西に逃れようとする東独の人々の多くの期待が集中し、そうした人々の解放の期待が、冷戦の半世紀に風穴を開け、鉄のカーテン・ベルリンの壁を崩し、冷戦後のヨーロッパの統一と発展を準備していったのである。

この秋、私たちは、冷戦終焉20年を記念して、ドイツ、オーストリア、ハンガリー、各国大使館と日本の大学との共同で、20年前の冷戦終焉に向けての人々の動きと政治家たちの政策決定過程を再確認する。あわせて、研究者の冷静な目で、冷戦終焉20年間は、そこに生きて生活する人々に結局何をもたらしたのかを、100年に一度といわれる世界金融危機後の現在に立脚しつつ、分析する。

以下、冷戦終焉時に、鉄のカーテンを開きベルリンの壁を崩した、当事国各国の政策決定者を招き、それがなぜいかにもたらされたのかを語っていただく。また 事実そのものを再検討しなおすとともに、その歴史的意義が、冷戦終焉 20 年後に、どのように読みなおされるべきかをも、再検討する。

1) 1989 年の冷戦終焉は、どのようにして起こったのか。

1945 年以降の米ソ国際政治の下での、ヨーロッパの分断と統合の問題を検討する。

2) 鉄のカーテンに風穴をあける、ヨーロッパ・ピクニック計画は、なぜ起こり、鉄のカーテンの崩壊、さらにはベルリンの壁の崩壊につながったのか。

3) 東欧の社会主義国の地殻変動に対し、EC, NATO 加盟国たるドイツ、中立国オーストリアとその政府は、どのように対処し、歴史を作りなおそうとしたのか。当時の政治家の証言、残された資料、研究者の文献によって検証する。

4) 冷戦終焉 20 年後、未曾有の世界金融危機とアメリカのオバマ政権の誕生を踏まえ、欧州は現在どこに向かおうとしているのか。日本はどう対処するのか。

ドイツ、オーストリア、ハンガリー、ポーランド、リトアニアの位置と役割を、当事国および日本の研究者（本学教授：山本吉宣）のコラボレーションにより検証する。